



【彩都友誼会病院の理念】
人とよりそう ひらかれた病院

●交通案内図



◆モノレールを利用される場合

大阪モノレール彩都線 彩都西駅下車 徒歩 5 分

＜主要駅から彩都西駅までの所要時間＞

万博記念公園駅・・・約 11 分	新大阪駅・・・約 30 分
南茨木駅・・・・・・・約 17 分	千里中央駅・・・約 20 分
大阪空港駅・・・・・・・約 30 分	大阪駅・・・・・・・約 40 分

◆お車を利用される場合

国道 171 号線「清水」交差点を北へ約 3km

◆阪急バスを利用される場合

「彩都あさぎ」下車 徒歩 2 分

阪急茨木市駅から・・・約 40 分 JR 茨木駅から・・・約 30 分
千里中央駅から・・・約 30 分

医療法人 友誼会

彩都友誼会病院

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目2番18号

TEL.072-641-6898 FAX.072-641-5967

<http://www.saito-yukokai-hp.jp>

放射線治療のご案内



放射線治療とは

放射線治療は、手術と同じく、がんとその周辺のみを治療する局所的な治療です。

がん細胞に外から高エネルギーの X 線を照射し、増殖を抑えたり、死滅させたりします。局所治療なので、全身への影響は少ないのですが、一度照射した部位には再度（一定量以上）照射することはできません。

当院ではがんを切らずに治療すべく、Varian 社製 Trilogy System を 1 台と Varian 社製 Clinac iX 1 台を導入し、より安全により正確な治療を実現します。



Varian 社製 Clinac i X



Varian 社製 Trilogy System

医療法人友誼会
彩都友誼会病院

また、常勤の放射線治療専門医、医学物理士、放射線治療専門技師、放射線品質管理士が在籍しており、充実したスタッフ体制のもと、患者さんに安心して治療を受けていただくことを心掛けています。

治療装置 Trilogy(トリロジー)とは

全身に対して高精度の治療を行える放射線治療装置で、副作用の少ない放射線治療を実現します。Trilogy は従来行なわれてきた放射線治療と比べ、より高精度の治療を実現するために開発された装置です。

彩都友誼会病院では、一般的な放射線治療の他に、

◇IMRT(強度変調放射線治療:放射線の強さを変えながら治療)→前立腺癌、脳腫瘍など

◇IGRT(イメージガイド下放射線治療:腫瘍の位置を画像で確認しながら治療)

◇定位放射線治療(ピンポイント治療)

→脳腫瘍、肺癌、肝臓癌

といった最先端の放射線治療も行なっています。



放射線治療 Q&A

Q1.どんな治療ですか？

患者さんは治療装置のベッドにじっと寝ているだけです。装置が体の周りを回っていろいろな角度から病気の部分に放射線をあてていきます。治療中に動いてしまうと、狙いが病気の部分から外れてしまうので、治療中は動かないことが大切です。また、治療装置から出てくる放射線の位置に病気の部分を合わせるため、皮膚に目印(マーク)をつける必要があります。このマークをもとに体の位置を合わせていくため、治療期間中はマークが消えないように気を付ける必要があります。

Q2.治療には入院が必要ですか？

基本的には通院での治療となりますが、患者さんの状態や希望に合わせて入院での治療も可能です。

Q3.痛みはありますか？

治療に使われる放射線は胸のレントゲン撮影でも使われている“X線”がほとんどです。撮影しても放射線が体に当たったと感じることがないのと同じで、痛みや熱感はありません。

Q4.1回の治療に掛かる時間はどれくらいですか？

一般的な治療では装置に体の位置を合わせてから5分ほどで終了します。治療の部屋に入って出てくるまで10～15分程度ですが、初回の治療や画像による位置確認を行なう場合などには、長くなる場合もあります。

Q5.治療回数は何回くらいですか？

10回であったり、25回、30回、40回と治療が長期間にわたる場合や、特殊な治療の場合には、1回で終了する場合、4回から8回程度で終了する場合もあり、病気の部位や種類、治療方針によって異なります。

基本的には、がん細胞を壊す目標量に達するまで、毎日少しずつ(土、日、祝日を除く平日に1回/日)放射線を当てていきます。一度にたくさんの放射線を当ててしまうと、がん細胞の周りの健康な細胞も壊れてしまうので、分割することが必要です。健康な細胞は、放射線によるダメージを回復する力が、がん細胞よりも強い(だいたい6時間ほどで回復)毎日ダメージを回復させながら、がん細胞にはダメージを積み重ねていきます。



Q6.付き添いの人が放射線を浴びることはないのですか？

放射線治療室の外では、放射線治療を受けている患者さんのそばにいても、周囲の方に対しては全く影響がありません。また、照射中の患者さんから放射線が出るようなこともありません。

放射線治療のすすめかた

①診察 ※完全予約制です

放射線治療医が診察を行い、種々の検査結果を参考にして治療方針(身体の中のどの部位に、どの装置を使って、どの位の放射線を照射するのか)を決定します。



②治療計画(シミュレーション)

放射線治療を行う前に、照射する部位の範囲や方向を決めるため、CTやMRIの撮影を行います。この時、治療部位の皮膚に放射線治療に必要な目印(マーク)を油性マジックでつけます(頭、頸部を照射する場合は、固定用マスクを作成し、マスクにマークをつけます)

CTやMRIの撮影をもとに治療計画を立てていきます。

③放射線の照射

計画をしたときの目印(マーク)をもとにして位置合わせ、照射を行います。

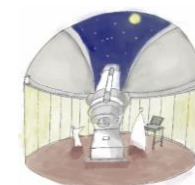
④経過観察

放射線による治療を受けた方には、放射線治療終了後も放射線治療医による定期検診が必要な場合があります。

放射線治療を希望される方

放射線治療科の診察は**完全予約制**です。治療方針について、現在かかられている主治医の先生へご相談いただき、医療機関を通じて診察予約をお願いします。

その他、不明な点などございましたら地域医療連携室までお問合せ下さい。



彩都友誼会病院 地域医療連携室

TEL:072-641-6898(代表)

受付時間 平日/9:00～17:00

※土曜日は13:00まで